

# 机邊だより

## ○人形の研究

(サ リ ー 氏)

此の研究は英國の心理學者ジュームス、サリー (James Sully) 氏の手になつたものであります。他にもかなり多くの研究が發表されて居るけれども然し其の多くは、單に實驗に得た結果の報告に過ぎない傾があるのです、専門家以外の人々には、其の結果を見て、更らに深く人形の眞意を考へ、人形と兒童精神との關係を究めると云ふことは、一寸困難な事と思はれます。之に反して、サリー氏は、スタンレー、ホール氏其他多くの研究家が得た實驗の結果を綜合して、それから推して、一般の人形に通ずる眞意を明にしようとした處に、此の論の價值があると思ひます。此の種の證據の立方としては、どうしても多少哲學的に偏する傾があるのです、通俗といふ譯には行かない處もある

けれども、然し、思想の豊富なことや、推理が一貫して居ることが此の問題に就いての多くの裨益と興味とを與へて呉れる處が多いと思ひますから茲に其の大意を御紹介することゝ致しました。

### 一 人形の科學的研究と

#### 其創始者

兒童の玩具としては、人形ほどに兒童精神と密接な關係を持つて居るものはないので、若し人形が其の小さな口から、いろいろな事實を語つて呉れることが出来れば、寧ろ總の心理學者、總の兒童研究家も及ばない程に、兒童精神の本質なり精神なりを聞くことが出来ると思はれる。

近世科學の進歩は、だん／＼と兒童研究の上に及ぼして來て、今迄には恰も測り知る事の出来ない神秘のやうに考へられて居た人形遊びの研究を、科學の世界に結び付けて、一縷の光明を與へて呉れたのは、誰れであるか、と云ふと、それは慧眼なる亞米利加人である。

最近に於ける人形研究のオーソリティーとしては  
 兒童研究家として有名なスタンレー、ホール(Stanley  
 ley Hall)氏である。これは何人も知る處であら  
 うと思ふ。

同氏は他の一人の研究家と協力して、熱心なる  
 研究を積まれた結果、種々な興味ある問題と、不  
 思議なる事實とを、人形の中に見出したのである。  
 どう云ふ方法で、それ等の事實を發見したかと云  
 ふと、其の一部分は、直接人形の遊び方に就い  
 て研究したものと、兒童にいろ／＼と人形に就い  
 ての質問を試みて得たもので、他の一部分は、比  
 較的年長者が自分の幼兒であつた頃に、行つた人  
 形遊びの記憶を辿つたものと、それから、同氏等  
 が持つて居られる人形に就いての思想とから歸納  
 したものであると思はれる。

## 二 人形の定義は未定 である

人形の研究と云ふ事は、非常に困難な事實で、

先づ「人形とは何か」と云ふ定義を下すことが、  
 先づ六ヶしいのである。多數の人々は、人形は生  
 命のない一の玩具に過ぎないもの、やうに考へる  
 けれども、決してさう云ふ單純なものではない。  
 兒童に取つて、人形は生きて居るばかりではなく  
 兒童自らの精神までも、それに蒐注して、心から  
 の遊び友達とするのが人形遊びの眞髓である。

成人から見れば、人形は單に人間の形をした偶  
 像に過ぎないやうに云はれるけれども、それは成  
 人の製造する傳習的な人形や、商店に陳列してあ  
 る人形を稱して云ふ言葉に過ぎないので、吾々は  
 それと違つた一種の人形があることを知らなければ  
 ならぬ。

然し此處には、人形の定義を鑿穿する必要はな  
 いので、極めて合理的な、そして十分満足し得ら  
 る、定義は、獨り科學的研究の結果から自然と決  
 せられて來るのである。

### 三 人形の種類と其の材料

人形には、(一)成人が一の型に當嵌めて作る人形即ち傳習的な人形 (Conventional Doll) と、(二)、子供が自己の想像から、自分で作つた人形との二種がある。

一、材料—先づ第一の人形に用ひられる材料は種々あるけれども、木材、ゴム、陶器、蠟、襪等が其の重なる部分を占めて居る。

二、大きさ—人形の大きさにも、種々變化があるけれども、四時乃至十二時の丈が普通になつて居る。藝術品としての立場から論ずると、無論さう云ふ大きな制限がなく、全然自由な大きさを撰ぶべきであるが、然し兒童の玩具としては、凡そ此の大きさを標準とする必要がある。

三、頭髮—人形の頭髮は、一般には實物の髪を用ふるが、又は繪具で畫いてある。そして頭髮であるとか、衣類であるとか云ふものは、概して男

の子よりも、女の子になるやうに作られて居て、男兒の人形は極く疎であると云ふことが出来る。

四、年齢—人形の年齢は普通には、飽く迄子供と思はれる年齢でなければならぬやうに考へられて居るが、これは少しく早計に過ぎた推定であると思はれる。其の理由は後に説明する心算である。

### 四 人形の撰擇は子供の

#### 自由である

兒童に與へる人形は、どの種類が適して居るか云ふと、これ迄は、在來の因襲から來て居るものや、商品として賣られて居るものに限られて居るけれども、これは飽く迄も、持主たるべき子供の好みに従ふべきである。子供の保育を重んずる家庭では、少くとも人形の撰擇位は、子供に許されて居ること、私は信じて居る。スタンレー、ホル氏は、八百四十五人の兒童中で、蠟の人形を撰ぶ兒童が百九十一人、襪の人形を撰ぶものが百四

十四人の多數を占めて居たと云ふ、奇異なる事實を發見したことを見ても、吾々成人の考へから子供の慾欲を憶測することは、極めて危険な仕事である。

又、大きさに就いても、意外な擇撰を見る場合が往々あるので、私の知つて居る一婦人は四時半の人形が好きであると云ふので何故かと聞くと、其の人形に假髪や密持を被せ、それに眉髪を書くともつと可愛い人形になるからたと答へたのである。又、英國の一婦人の語る處に依ると、其の子供は大きな人形を好み、其の理由には、大きな人形は抱くの都合がよく、しつかり抱いて居ると他人が欲いと云はないからだと答た實例もある。思ふに、この子供は、人形が眞當の子供であると云ふ事を、臍氣ながらも考へて居たものと思はれる。

## 五 成人を象徵した人形 と其弊

人形の中には、成人を表した種類のあることは云ふ迄もない事である。然し成人を表した人形の多くは無暗に立流な衣装を飾るとか、特殊な偉人物を表すとかいふ種類に限られて居るやうで、殊に天子の像を表した人形は、此の意味で最も高價をなして居るものである。然しさう云ふ特殊な人形が、どれだけ人形としての役目を満して居るか、子供に取つて、どれだけ會心の友となつて居るか云ふは頗る疑はしいのである。さう云ふ掛け離れた楷級の人形は、寧ろ子供に奇怪の念を興へる爲めに、人形の名を通り越して、反つて敬して遠ざける念を興へるに過ぎないものである。

## 六 着色した人形と道化 た人形の興へる感情

黒い色で着色した人形は、子供がそれを手にした當時は一寸驚くかも知れないが、然し人形としての美感を、子供の胸に印象せしめる事が出来る

可否の點には頗る疑念を懷いて居る。スタンレーホール氏は、子供は着色した人形を好むものでそれは他の人が嫌ふからと云ふ理由であると論じて居るけれども、強ちさうとは斷せられないのでよしさう云ふ兒童があつたとしても、それは極く少數な例外で、決して一般的兒童に通ずる傾向ではなからうと思はれる。

道化た容をした人形や、ポンチ繪的な人形なども、等しく玩具中の一部分をなして居り、人形としての特色も、幾分持つて居ることは、疑のない點であるが、然しさう云ふ人形に對した場合に、子供の心に起る或情の中には、好奇心であるとかその人形に對する憐みの情であるとか云ふやうな分子が混つて居るもので、人形に對する純粹な愛情と云ふものは、極めて薄いものであると云ふことが出来る。

## 七 男兒の人形遊びと人形

の撰擇

人形遊びは、女の子供だけに限られるもので、男の子供には普通に行はれないものゝやうに考へられて居るけれども、それは決して正確な観方ではないので、スタンレー、ホール氏は、可なり年長の男兒にすらも、人形遊びが喜ばれて居ると云ふ事を證明して居る。然し男兒が人形に對して持つ感情と、女兒のそれとは、其の間に餘程差別があるもので、男の子供は、少くとも道化た人形であるとか、着色した人形であるとか、エスキモー人形であるとか云ふやうな、奇異な形をした人形を撰ぶもので、又、動物の形をした玩具を人形として取扱ふのも、女兒よりは男の子供に多いのである、これは男兒の情感と云ふものは、女兒よりも温和な分子が少いと云ふ事實を證して居る。

## 八 子供の手製人形と其價值

さて、こゝから私自身の意見を陳へやうと思ふのである。

曩さきに述べたやうに成人の手で作られる人形、  
 即ち眼であるとか、手であるとか、其の他人間の  
 外形ぐわいけいと等い要素を備へて居る人形だけが、獨り人  
 形としての資格を有つて居るものではないので、  
 さう云ふ何處の店にでも見られるやうな、御きま  
 りな人形の外に、兒童自らの手で作られる人形の  
 一種があることを知らなければならぬ。一般に成人  
 人は、完全な人形でないと云ふ立場から、子供の  
 手製の人を輕視して、恰も賣物の人形の代用品の  
 やうに考へて居るけれども、これは極めて不穩當  
 な見方である。成る程、貧しい子供には、或いは  
 棒などにシオールを被せた人形で立派な人形の代  
 りをさせられる場合がないとは云へない。然し子  
 供が自ら好んで、さう云ふ粗雑な、不恰好な成人  
 には人形と思はれないやうな人形を撰ぶ場合が多  
 いとしたならば、どうであるか。成る程、チョット  
 は綺麗な立派な人形に心を奪はれるかも知れない  
 が、若し撰擇の猶豫を十分に與へて、此の二を撰

ばしめたならば、不恰好な方の人形を撰ぶことは  
 疑うたがひない事實である。

兒童の精神を解せない傍觀者にとつては、血も  
 情もない空虚な蠟人形に、子供の情が通ずるとい  
 ふ事すらも、不思議に思はれる位であるから、  
 更らに、綺麗な裝飾をした人形よりも、粗雑な手  
 製の人形に、より多く歸依すると云ふことは、も  
 つと不思議な事のやうに思はれるでせう。吾々が  
 兒童の精神を考へるときに、其の豫測し難い困難  
 の前に挫折するのは、即ち此處である。

## 九 奇異なる人形の代用品

多數の人々は、前に云つたやうな立場からして  
 そんな奇怪なものが、どうして人形として考へる  
 ことが出来やうかと疑ふでせう。さう云ふ人は、  
 スタンレー、ホール氏の「人形の代用品」の一節を  
 讀まれたならば、其の意外な驚かざるを得ない  
 のである。其の中には、例へば、枕、棒、徳利、

玉蜀黍、針、瓜胡、箒、ボタン掛、掛釘、椅子、腰掛などが人形の代用品として、あげてあり、もつと奇怪なのは、箱、水差、皮取り、敷布、ブラシ、サジ、書籍、等で、其の他吾々成人の考へも及ばない種々な物品が、丁度「若し吾々が人形でなかつたら、何になるか云つて見なさい。」とでも云ひさうな風に、列へ立てゝある。それであるから、吾々が單に成人の立場から見たいだけで、子供の人形を制限するのは、非常な誤りである。

## 一〇、腰掛や徳利が何故人形に見えるか

斯様に人形らしかぬ物質を、人形として取扱ふ場合が多い處を見ると、子供は、人間の容を大まかに暗示して居る人形を撰べ傾きがあると考へることは出来る。さうして此の形の暗示は、子供が初めて人間の形を畫し繪畫に表はれて來るものである。故に、子供に取つて、圓形であるとか、楕

圓形であるとか、若しくは人間の頭や體に、類似した形であるとか、足に似通つた二つの交叉線であるとか云ふものゝ想像が大切であると云ふ事が理解されると思ふ。

そこで、前に掲げたスタンレー、ホール氏の人形代用品に就いて、子供の想像がどういふ風に働いて居るかを考へて見ると、枕、橙、栗、等は圓形を爲して居る爲めに頭を暗示し、徳利、胡瓜、ブラシ、サジ等は楕圓形を爲して居るから、體を暗示し、火箸は人間の足を暗示するものである。又、靴スギ、洗濯板は、人間の體に似て居る爲めである、スタンレー、ホール氏は云つて居る。それから椅子や腰掛が人形にされるのは、その足が人形の腕のやうに見える爲めであらうと思はれるのである。

尙、兒童の多數は、人間の繪を畫く場合に、人間の體を表すばかりでなく、腕や足を線で表すものであるが、さう云ふ形と子供に取つて一種の

人形である處の棒、針などの形は、何れも原始的な繪畫の描寫法と似通つた處が多いのである。

## 一、人形の撰擇と頭髮

### との關係

或る場合には、兒童が人形を撰擇する標準は、體に附いて居る附屬物に影響される場合がある。例へば頭髮の如きも其の一であつて、子供の書く人間の畫には、ふさ／＼とした澤山の頭髮の附いた頭を畫くものであるが、これを以て觀ると、頭髮の澤山にあると云ふことが「可愛いげな人形」と云ふ概念になつて居るものであらうと思はれ、又「ネギ」「胡蘿蔔」などを人形にする場合の多いことを以て見ても、これを證據立てることが出来るのである。

また、實物の髪の毛の代りには、種々それに似通つた品物が代用される場合も決して少くはないやうである。

此等の觀察から推して行くと、子供が繪畫で表す傘であるとか、パイプであるとか、靴であるとか、上草履であるとか云ふやうな物は、何れも人間の形を表す目的で畫かれて居るものと觀る事が出来る、英國の一婦人は、或る夜自分の愛して居る人形と一緒に床に就いて居ると、何かに驚いて床から飛び起きたのでどうしたのかと、聞くと、天床の椽が人形の壁になつて見えたのに驚いたのであると答へたさうである。これは前に云つた事實を極端に象徴したものと思はれる。

## 一二、人形は飽く迄活動的なものである

人間の機能の中でも手のやうな、部分は他の部分より先に發達するものであることは、生理學上から明な事實であるが、これが同時に子供の人形の智識に就いても同様の法則があつて、人形の他の部分よりも、手に就いて知識がより多く發達



するものである。これを以て考へると、人形は繪畫のやうに、靜思的なものではなしに、飽く迄も活動的なものであると云はなければならぬ。

人形遊びは、今後益々盛んに行はれて来るもので、恐らく遊戲中の主要な部分を占めるものと考へることが出来るのである、其の遊びの中でも、殊に盛んなのは、人形に衣装を着せる遊びである。元來子供が、衣装に就いて持つて居る知識は、本能的なものと思はれる位に進んで居るもので、殊に自分の人形の衣装に就いては、カール・ライル氏の衣装哲學にも譲らない程な知識を持つて居る。眞直な棒や、石筆や、箒などは云ふ迄もなく、其の他、大ていの品物に、シオールであるとか風呂敷であるとか云ふやうな衣装を被せると、もう立派な人形になつて来るもので、コート、樓クツ、タオル、敷布なども、用法は違つて居ても、矢張り同様の目的の爲めに用ひられるものである。

### 一三、兒童は人形遊びで

#### 何を表すか

兒童は人形遊びで、何を表はすものであるかと云ふと、スタンレー、ホール氏の研究に依ると、最初は單に人形のお守りをするとか、抱いて或る場所から他の場所へ運ぶとか云ふやうな働きを喜ぶものであると云つて居る。これを半面から考へると、自分が人形を抱いて居ることが、成人の眼に映ずると、子供の心に一種の誇りとも云ふべき感情が起つて、限らない満足を感じるものであると考へられる。それから發達するに従つて、種々な遊び方が行はれるものであるが、今其中で主たるものを項を別けて説明すると、

第一衛生 衣類を着せたり、顔を洗つたり、ブラシで頭の塵を拂つたりする遊び方であつて、其の中でも殊に頭を清潔にする遊びは子供に取つて最も得意な遊び方である處を観ると、清潔とか

綺麗とか云ふやうな思想は、かう云ふ處から養はれて行くもので、又、遡つて考へると、努めて悪感を避けやうとする本能的な欲望が、此處にも働いて居るものとも觀られる。

或る婦人の云ふ處に依ると、同婦人の幼少な時分に、蠟で作つた頭へ、實物の髪を着けた人形と陶器製の頭へ髪の様を書いたもの、二種を持つて居た、そして第一の方はブラシを掛けるのに適して居り、第二の方は洗ふのに都合がよかつたけれども、悲しい事には、共に強く磨く譯には行かないので、心ゆくだけの満足を得ることは出来なかつた。顔は僅にバタで洗つて居たけれども、そんな事では自分の腑に落ちない、寧ろさう云ふ洗ひ方を私に耻ぢて居た。そうする中に、此の二の短所を補つたもので、陶器製の頭へ實用の髪を付けた人形がバリーから送つて呉れたので、其の喜びは譬へやうもない位で、それから後は其の人形と遊ぶことが、何よりも楽しかつたと、時分の幼

時を追懐して誇りげに語つて居た、之れに依つて見ても、人形の體を清潔にすると云ふことが、どれだけ子供に尊ばれて居るか云ふことが理解されると思ふ。

第二食事 食事また、人形遊び中の主要な形式である、そして子供自身は規則正しく、且つ食事をして居るものであるから、此の遊びは子供の愛他的な感情から起るものと思はれる。スタンレーホール氏の報告書に依ると、此の遊び方も、それ／＼子供によつて異つて居て、中にはズイ分奇妙なやり方をする子供もある、或る兒童は食物を人形に近い床の上に供へ、或る兒童は、人形の口へ持つてゆき、更らに極端なのは、人形の齒を壊してまでも、無理に口の中へ入れやうとする子供もある。又、中には、さう云ふ慘酷に近いやうな、やり方をして居るかと思ふと、暫くして氣附いたやうに首の處へ持つて来る兒童もある。

英國の一婦人の言ふ處によると、其の婦人の子

供は、食事の時間になると、キツト人形を二階へ連れて行つて、食堂へはどうしても連れて来ない。

そして自分も人形の側で食事をするのが常であつた。其の時に子供が人形に話しかけて居る言葉を聞くと、自分の御母さんが肺を病つて居られるから、側へ行つてはいけなと云ふことや、二階は肺病が来ると大變だから、氣を附けなければならなと云ふやうなことを、繰返してさゝやいて居たこともあり、又、一日人形に食事を與へない時がある、其の翌日は二倍の分量を與へやうとすることもあつたさうで、これ等は人形に對する子供の忠實な情愛が、如何にもよく表はれて居て面白いと思ふ。それから、自分の食ふべきものを、半分残して人形に供へると云ふやうなことは、常に見る處であつて、これもまた、自己犠牲の精神が表はれて居るものである。

第三就寢 人形を寝かすことも、人形遊び中の一である、人形を揺らしたり、すかししたり、子守

り歌を歌つたりしながら、寝つかせやうとするとは普通に見る處であるが、その中でも、「私の腕がしびれるまで……」と云つたやうな、さゝやきをしながら寝つかせやうとして居る處などは、如何にも子供の眞情があふれて居ると思ふ。その他、音をたてないこと、歩くのにも爪先で靜に歩むこと、話をするのにも、小さくさゝやくこと等にも深い注意を拂ふものである。

此れ等の事實に就いて考へて見ると、人形は幼兒として、子供に考へられて居るものである。言ひ換れば床に入れて寝付かせるとか、起さるとか子守り歌を唱ふとかと云ふやうなことをするのは、人形が幼兒であると信じて居るからである。それと同時に、人形がだん／＼生長して行くものだと考へられて居ることも事實である。更らに面白いのは、人形を床に入れた時には、努めて人形の眼を閉ぢやうとすること、若しとてうしても閉ぢることが出来ない人形だと、今度は

着物や布團で人形の顔を隠して、自分に見えないやうにする。これは眼と云ふものは最も強い魔力を持つて居るものであるから、さうせないといふ人形が眠つて居ると云ふ錯感が、子供の頭に起きない爲めである。ガラスで、眼球を作つた人形は、子供に於ける此の錯感を破る傾がある。

第四看病 人形の看病と云ふことも、主なる人形遊びの一である。そして其の治療法が單純な方法で行はれるものである。顔の模様が禿げたり、土が落ちたりした場合には、其の人形は恰も癩病患者のやうに考へられて、如何にも不憫さうに、子供の目に映るのである。もつと酷く顔全體の模様が禿げてしまうと、其處に初めて治療が施される。

或る場合には、人形が麻疹に罹つて居ることを象徴しやうとして、赤の色鉛筆で、ブツ／＼の斑点を人形の顔へ書くこともあり、熱病が癒つたと云ふ記しに、人形の頭髮を巧みに抜き取ることす

らもある。

又、手足や、頭が壊れると、外科手術が施される、然しさう云ふ外科手術を行ふ兒童は極く稀であつて、一般の兒童に共通な遊び方とは云へないやうである。

第五人形の保育 子供が人形の保姆となる遊び方も、屢々行はれるものである。例へば、散歩に出る時や訪問に行く時に連れて行くとか、繪本を見せるとか、ピアノを奏して聞かせるとか云ふやうなことは普通に行はれて居る。

又、學科を教えたり、修身の講義を聞かせたりすることも、人形の監督者としての立場から、往々行はれるものである。

第六懲罰 人形の過ちなり罪なりを懲さうとする考へが子供にあると云ふことは、スタンレーホール氏の報告中に明かである。或る子供の答に「時々人形の爲めになる話をして聞かせます」と云ふやうな答をする子供と、人形が言ひ付けを聞か

ないと、時々ぶつの、それは、おかしいのよ。」と答へた子供とがあつたさうで、子供の心の働き方が、それ／＼子供に依つて異つて行くと云ふことは、此の二つの答を對照して見ると、明になつて来る。

第七葬式 人形遊びの中で、奇妙なのは、厳格な埋葬式が其の中に行はれることである。元來、儀式は最も子供の興味を惹く遊びの一であるが、其の中でも葬式は、吾々成人が葬式に對して起る一種悲哀な感じと同様な感情が、子供の胸にも起るものと思はれる。それ故に、人形の葬式を行ふ子供が極めて多いと云ふ事は、怪むに足らないのである。

或る場合には、一度埋葬した人形を、再び掘出して、元のやうに慈むと云ふ事實のある處を觀ると、子供が埋葬を好むのは、單に其の儀式に興味を持つものとも思はれ、又、一面から云ふと埋葬した人形が、確に天に上ツたか、どうかを確かめ

やうとする爲めに、掘出すやうにも思はれる處がある。

さう云ふ意味からではなく、純正に行はれる葬式は、人形が眞當に死んだと考へられた時である例へば人形の頭が壊れて落ちたり、人形の體が破れて、紛がハミ出したりしたやうな場合である。

又、子供が人形に對する愛情がなくなつて、もう其の興味が失せて仕まつた場合に、人形が死んだものとして埋葬しやうとする場合もある。さう云ふ場合には、曾て自分の至情愛とをこめて慈んだ、思ひ出の多い人形の最後を紀念しやうとする情が、明に表はれて居る。カール夫人が、自分人形遊びに適せない年齢になつた時に、自ら行つた儀式や其の感じを語つて居る。

勿論、さう云ふ儀式はつた埋葬の代りに、其の人形を割つて捨てるとか、爐の中へ投げるとか云ふやうな方法をとる子供もあるけれども、一般に女兒は、埋葬式を嫌ふ傾はないやうである。

## 一四、人形は子供の最も親密

な知己である

以上、私の述べた論は、子供が人形を自分の幼  
兒として取扱つて居る場合を論じたものであるが  
然し人形遊びには、それと異つた一面のあること  
を忘れてはならぬ、子供が人形を相手に話をする  
のは、單に其の話しをするのと云ふ事に興味を持つ  
だけではなしに、更らに深く、自分の眞情を人形  
に向つて吐露する場合も決して尠くはないのであ  
る。例へば、子供の小さな胸に堪え難い悲みであ  
るとか、不平であるとか云ふやうな感情が起つて  
而もそれを成人に、訴へる事が出来ず、訴へやう  
としても、通することが出来ない場合には、それ  
を人形に語ることが、子供にとつて唯一な慰藉で  
ある。さう云ふ場合の人形遊びは、子供の唯一な  
隠れ場所である。

此の場合には、人形を少くとも自分と同年輩の

ものとして取扱ふものであることは云ふ迄もない  
ことであつて、人形に對して、さう云ふ考へが增  
せば増すほど、それだけ幼兒として取扱ふ分量が  
減つて来る譯である。これは成人にはチヨット氣  
の附かない點であるけれども、決して見過しては  
ならない一面である。

## 一五、一の人形を好む情と澤 山の人形を好む情

子供は、たゞ一の人形を専有して、自分の愛情  
をその一に注中しやうとするものであるが、それ  
とも澤山の人形を好むものであるかと云ふに、そ  
れは何れでもなく此の二つの慾望が一人の子供の  
頭に兩立して居るものと思はれる。單一の人形に  
全情愛を注ぐ場合は、前に種々に説明した通りで  
あるが、澤山の人形を好む場合は、それを一の家  
族として取扱ふもので、詰り自分の家族が多くて  
成るだけ多く自分の情愛をそれに注ぐことが出来

れば、それだけ多く自分の幸福を増す譯である。

一面から見ると、家族全體を愛する情愛の中には、單一の人形を愛する愛情が包含されて居るのではなく、言ひ換へれば、單一の人形を獨占して、それに全情愛を注中しやうとする欲望が少し擴くなつて家族全體を愛するもつと大きな情愛になつて來るものであらうと思はれる。

それから、紙人形であるとか、陶器製の人形であるとか、蠟の人形であるとか云ふやうなものはそれ／＼違つた一族として取扱はれるものである、そして人形の家族が一族に限られて居る場合には、よく子供の心に、依怙ヒイキの情が起るもので、ある一の人形に對しては、其の取扱が著しい相違が表はれて來る、これは一般社會の家族の中でも、姪と姪とが互に愛しあふのと同様の譯である。

## 一六、人形が擬人を失ふ場合

人形遊びは、多くの場合に於いて、結婚式であ

るとか云ふやうな、目立つた儀式や、社會的競戲(Social Game)を愛する欲望を助長するものである。紙人形や、繪の人形などは、よく此の目的に使用されるものである。此の遊戲の中には、人形芝居の分子が含まれて居るもので、此の場合には、人形の擬人が失はれて、人形は人形芝居の役者、子供は其の監督者になるのである。

木製の人形と、蠟の人形とに對して、子供の心がどんな風に働くと云ふことは、餘程困難な研究問題である。スタンレーホール氏も此の點には未だ論及されて居ないが、子供が此等の人形に對した時の態度から考へると、此の二の人形は少くとも自分と同様な人であるやうに考へて居るものと思はれる。言ひ換へれば、此れ等の人形は生きて居るもので、食物や、睡眠や、又必要な時には醫藥を與へることに依つて、人形の健康を保つたり、假に生長したりするもの、やうに考へ分れて居り、又視覺や、喜怒哀樂の情は勿論、待遇の

よし悪しなり、憎愛の差別なり、又幼稚なからも一通りの道念位を理解するだけの感覚を持つて居ると信じて居るやうに思はれる。

## 一七、粗雑な人形に對した

### 時の子供の錯感情

どんな恰好の人形が、一番よく子供に好かれるかと云ふと、吾々成人から考へれば、成るべく人間の容、殊に女の子供に近い、ハツキリした人形が、より多く喜ばれさうに思はれる。處が必ずしも、さうではないので、どんな粗雑な人形でも、チヨット人間の恰好さへ付いて居れば、優に人間の錯感と呼び起すだけの力が子供に與へられて居るのである。どんな不恰好な、人形にも、等しく愛いらしい目、薇薔色の頬、やわらかな頭髮などが立派に備つて居るのである。そして、さう云ふ錯感を妨げる。不釣合な分子があつた場合には、用捨なく自分の頭から除いて仕まうだけの働きを

持つて居るのである。

成人から考へると、若し人形の眼が動がなかつたり、若し動いたとしても、少しも意味がなかつたり、口が開かなかつたり、頭が動かなかつたり、偶像のやうに一言も發するところがなかつたならば、どうであるかと云ふ疑問は當然起きて来る。然しさう云ふ心配はいらないので、子供の躍如たる想像力は、自分の頭にさう云ふものを描くだけの藝術的な働きをなすものである。例へば床へ入れた人形が何時迄も眼を閉ぢなかつた時に、着物で顔を隠さうとしたり、喉へ通すことの出来ない食物を人形の背後に隠したりするのは、此の働きが外部に表はれたものと觀る事が出来る。子供が自分で作る人形、例へば棒に襖を覆せたものを人形として取扱ふ場合は、最もよく此の作用が子供の頭に働くもので、此の場合には子供の理解力が極度に減じて、獨り想像力だけが働くのである。



## 一八、粗雑な人形を喜ぶのは

### 兒童一般の通例である

それでは、完成されて居る綺麗な人形よりも、粗雑な手製の人形を好む兒童は、どんな階級の兒童であるか、さう云ふ子供は、人形を生きて居るものとして尊重する感情よりも、寧ろさう云ふ矛盾を觀破するだけの知識が勝つて居る爲めに、自分の想像を弄ぶよりも、自ら作り出す欲望の方が多いのではなからうかと云ふ疑問が起きて来る。スタンレー、ホール氏も此の點には何等の解決も與へられてないが、私の考へでは一般の兒童は皆さう云ふ人形を喜ぶものであると思はれる。これは矢張り前に云つたやうに、強度な子供の想像力がさう云ふ人形を作り上げるもので、言ひ換へれば、子供の理解力が内部思想の爲めに壓せられてしまつて、其處に一種の催眠作用が起きるのである。此の作用を名けて「官能錯感」と云ふことが

出来る。吾々が最も強度な錯感として居る、芝居から受ける藝術錯感ですらも、子供の人形に於ける錯感に比べると、遙に冷かな、覺醒的なものである。

## 一九、人形はどんな物として

### 子供に取扱はれるか

スタンレー、ホール氏の言に依ると、子供が幼兒の人形を作る場合が比較的少く、反つて成人を表す人形を作る場合が多い處を觀ると、父及び母としての立場から、人形を愛する感情が比較的少いものであると、論じて居るけれども、これは少しく早計に失した見方で、私の考へに依ると、子供はさう云ふ成人の人形をも、同じく子供の心算で表はし、子供として取扱ふものではなからうかと思はれる。曩きに述べたやうに、子供は自分の想像に不利の部分は、頭から除いてしまふだけの力を持つて居る爲めに、成人を表した人形でも、

同様に子供として取扱ふことが出来るものである。スタンレー、ホール氏の揚げた實例で、人形を努めて幼児にしやうとする爲めに、人形の頭髮までもムシリ取つて、坊主にする場合がある。と云ふことは取りも直さず、子供の寵愛物となる人形は幼児の人形に限られて居ると云ふ事を證據立て居るものであらう。

又、一方から考へると、人形遊びは、殆んど全世界に涉つて行はれて居るが、何れの國に於いても古來から主として女の遊戲として傳つて居ることを考へたり、又其の遊戲の大部分は育児の模倣であることと考へると、どうしても母としての立場から人形を愛するものと觀なければならぬ。

スペインサーは、母の幼児を慈む心情に、女性本來の特質が宿つて居ると云つて居るが、實際、傷いけな、小さなものを慈しやうとする情は、兒童殊に女兒の持つて居る著しい特質の一である。そして人形は此の欲望を満足するに、最も都合よい

ものなのである。

## 二〇、人形遊びに於ける

### 子供の主觀的欲望

更らに一面からこれを考へると、さう云ふ遊び方の中には、子供が保育せらるゝ地位を脱して、保育する地位に立たうとする先天的な欲望が、其の中に働いて居るものではなからうかと考へられる。さう云ふ自分の地位を主觀的に轉倒する遊び方が、子供を満足せしめるものであると云ふことは、自分と同じ位の人形が子供の手で作られた時に、最もよく表はれるものである。果して、さうであるとするれば、子供が幼児の人形を喜ぶ原因に、一の新たな説明が加へられた譯である。

兎も角も、親としての情愛が、人形遊びの根本となつて居るもので、少くとも、其の感情が他の感情よりも、餘計に發達して居ると云ふことは、以上の説明で、略ぼ理解されたことと、信ずる。

其の他、子供の年齢が、青年期、處女期になるに従つて、人形に對する感情が、どんな風に變化して行くかと云ふことなども、大切な研究であるが、これは機を見て更らに論じ度いと思ふ。

要するに、人形の神秘は、探れば探ぐるほど深い神秘に鎖されて居るもので、スタンレー、ホル氏の報告も、多くの興味を惹く割合には、人種學上に及ばす効果が少いやうに思はれるのである。(完)

## 新著紹介

### ○高島氏「教育に應用したる兒童研究」

高島平三郎氏著「教育に應用したる兒童研究」は邦語にて著はされた兒童研究書中、恐らく一番大さいものである。「兒童と人生」、「兒童の意義」、「兒童の身體」、「嬰兒の心」、「幼兒の心」、「少年少女の心」、「青年處女の心」、「結論」の八章に分けて、總頁數五百八十八、兒童心理の各問題に涉つて居る。但し緒言にも著者自ら述べられてある通り、純學

術的に記述せられたものではない。同氏の前著「兒童心理講話」の後を承けて、通俗の範圍に於て一層精と密とを進め、多少理論上の記述を添へられたものである。即ち書名の示す通り教育上の應用といふことを主としてある。之れ一般讀者にとりて、直接有益の書たる所以である。「幼兒の心」の章では幼稚園に關する問題がいろ／＼論ぜられてある。又此の章に於て玩具に關する多くの記述がある。従つて此の章が最も多く、幼兒教育者に興味を興へる。各時期に涉つて兒童の各種本能が説明せられてあるのも讀者にとつて利益の多いことである。たゞ兒童の恐怖に關する問題が本能としても、情緒としても説明せられて居ないのは著者に特別の御意見のあることであらうか。文章は言文一致體で極く平易に讀み易く、卷末に附せられた索引と參考書とは讀者にとつて甚だ便利である。之れ等編述上の親切に就ても、著者の勞は少なからざることである。我國兒童研究界に此の好著を得たことを喜ぶのである。(東京麹町二丁目洛陽堂發兌 定價金貳圓八拾錢)

○爾來本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます。

- 一、庶務上の御手紙は、東京市小石川區久堅町七十四番地、フレイベル會宛。
- 二、會計事務は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、雨森劍苑宛。
- 三、婦人子ども編輯上の御用務(原稿、廣告等)は東京府下代々木九十二番地、倉橋惣三宛。